

第二世代デュアル・クラッチ・トランスミッション | エンジンの特徴

②コンセプトを実現する最適仕様のクラッチ

大排気量・高回転型のエンジンに比べ、ミドルクラスの排気量で低・中回転型のエンジンは、軽い車体重量とあいまって、チェンジショックを少なくすることが可能ですが、今回、エンジン開発コンセプトに照らし合わせ、チェンジショックを VFR1200F と同等以下にすることで、より上質なチェンジフィーリングとなるようクラッチを専用設計としました。

さらに、プライマリードリブンギアを2つのクラッチで挟み込む形(サンドイッチ構造)のレイアウトで採用することにより、メインシャフトをはじめとする、各部品をコンパクトかつ軽量にでき、コストダウンが可能となりました。

以上のように、「成熟した走りのテイスト」を追及し、マニュアルトランスミッション同等のダイレクト感ある途切れのないシームレスなギアチェンジをクラッチ操作なしに実現しながら、ライダーのスキルに左右されず、ベテランライダーのような走りと安定した燃費性能を発揮するデュアル・クラッチ・トランスミッションを、より軽量・コンパクト化するなど進化させ、世界中のより多くのお客様にそのメリットを体感していただきたいという願いを込め、お求めやすい価格で実現しました。

■第二世代デュアル・クラッチ・トランスミッション コンセプトイメージ

